

【参考】新潟広域都市圏における具体的な連携事業（例）

圏域形成に至った経緯

- 新潟広域都市圏の区域は越後国蒲原郡にほぼ該当するなど、古くは奈良時代から結びつきのあった圏域
- 連携中枢都市の新潟市では広域合併や政令指定都市への移行に伴い「都市内分権」を推進してきたが、人口減少・少子高齢化が進展する中、産業や観光などの諸課題について、近隣市町村との「広域連携」の機運が上昇
- 平成27年度に総務省から受託した「新たな広域連携促進事業」での検討内容も踏まえ、平成29年3月に近隣10市町村と連携協約を締結



今後の展開

- 成果指標（基本目標）の達成に向けて、連携事業の進捗状況を新潟広域都市圏ビジョン懇談会等で管理
- 更なる行政運営の効率化や圏域全体の経済活性化に向けて、連携事業の追加・拡充を継続的に検討

圏域全体の経済成長のけん引

新潟地域産業見本市（にいがたBizExpo）の開催

圏域内の様々な業種の企業等が出展する商談型の産業見本市を開催し、販路拡大や新事業展開の取組を促進するとともに、圏域の中小企業支援策を効果的にPRする。

※平成29年度は184の企業等が出展し、延べ11,390人が参加

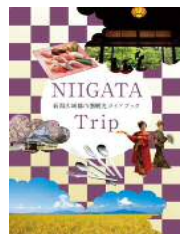


【にいがたBizExpo2017】

広域観光ガイドブックの作成

圏域内の魅力的な観光資源をつなぐ周遊ルートに掲載したガイドブックを多言語（日本語・英語・中国語（簡体字/繁体字）・韓国語）で作成し、首都圏や航空機内等での観光プロモーションに活用する。

また、圏域内で開催されるコンベンション等でガイドブックを配布するなど、MICEにおける相互連携も行う。



【広域観光ガイドブック（作成中）】

NIIGATA SKY PROJECT【H30追加事業】

圏域内の企業による航空機部品の一貫受注生産体制の確立や無人貨物飛行機の開発について産学官連携での支援や情報共有を行う。



【NIIGATA SKY PROJECT ロゴマーク】

高次の都市機能の集積・強化

新潟駅周辺整備による拠点性向上

圏域における観光・ビジネス客の陸の玄関口である新潟駅は圏域内での二次交通の結節点。

①在来線の高架化や②新幹線・在来線の同一ホーム乗換えの実現、③駅前広場や高架下交通広場の整備などによって、圏域内外へのアクセス拠点としての機能強化を図る。



【新潟駅前広場（万代広場）整備イメージ】

圏域全体の生活関連機能サービスの向上

文化・観光施設の相互利用促進

圏域内の魅力的な文化・観光関連施設の共通割引券を広報誌等に掲載することで文化環境の充実を図るとともに、圏域内のヒトの流れの創出による地域活性化につなげる。

※対象施設は水族館、美術館、産業史料館、郷土資料館、スキー場等



【文化・観光施設共通割引券対象施設】

公共交通ネットワークの確保

圏域内の公共交通ネットワークを確保するため、新潟市と連携市町村の間を結ぶ高速バス路線を維持するとともに、その他の路線バスや鉄道を含めた交通結節機能の充実・強化を図る。